

令和 4 (2022) 年度 事業報告書

2022 年度における全施設の延べ利用者数は 93,705 人となり前年度の利用者との比較では 27,420 人の増加となった。

2022 年度も新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況下での各会館の運営であったが、全国旅行支援による支援活動で一般利用客の宿泊利用が徐々に回復をしてきた。特に年度末に進む中、川崎海員会館を除く 3 館（ナビオス横浜、エスカル横浜およびエスカル神戸）は一般客の利用が大きく増加した。また、全ての会館において物価高騰の煽りを受け、予算以上の支出が増加した。その為、2023 年 1 月から川崎海員会館を除く 3 館で概ね 7~8%の宿泊料金の値上げを行い、収支バランスの均衡を図った。宿泊料金値上げの難しい川崎海員会館は食事など各種料金の値上げを実施した。しかしながら、支出の増大、特に水道光熱費の高騰が大きく、最終的に経常収益は全体的には昨年度を大きく上回ったが、同時に経常費用も増えた分、経常増減額（いわゆる経常損益）の改善は限定的となった。

以上